

投資事業部の役割や狙い

投資事業部は、2026年4月に新設された部署であり、従来の商業銀行モデルから一步踏み込み、地域経済の活性化と当行グループの将来の新たな収益の柱の構築を目的に、エクイティ投資を中核とした投融資およびコンサルティングに取り組んでいます。

具体的には、当行営業地域の企業へのエクイティ出資、不動産データを起点にした投融資案件の創出、外部ファンドとの共同投資など、これまで当行グループが培ってきたファイナンスに関するノウハウと多様な投資手法を組み合わせることで、地域経済の活性化を目指します。

また、企業へのハンズオン支援やプロジェクトマネジメントを通じて、投資対象の価値向上を自らの課題と捉え、単なる資金提供にとどまらず、企業やアセットの成長戦略の実行まで伴走できる人財育成にも取り組みます。

これらの活動により、投融資活動で得られた収益や人財・スキル・ノウハウを営業地域内に再投資する「循環型の投資モデル」を確立することで、地域経済の活性化と当行収益力の向上を実現してまいります。



投資を通じて地域の未来を創る力になる



投資事業部
菅川 大輝

投資事業部では、エクイティ投資を通じて、企業価値や不動産などのアセット価値向上に深く関与しています。単なる資金提供にとどまらず、経営者と同じ目線に立ち、成長戦略や事業承継、M&Aなどの重要な意思決定に伴走できる点に、大きなやりがいを感じています。

また、外部ファンドやグループ会社との協働を通じて得られる新たな知識や視点は、自身の成長にもつながっています。投資の成果が地域に還元され、次の投融資へと循環するサイクルの構築を通じ、企業と地域の未来をジブンゴトとして考え、価値創造に挑み続けてまいります。